

# 在宅医療特化の効果的なチーム医療を実現し全国に診療所を複数展開

医療法人徳隣会 つつみクリニックは2014年に在宅医療に特化した診療所として佐賀県鳥栖市に開院。16年に福岡市、21年に東京都、山口県、福岡県に合わせて4つの分院を開設した。全国進出への背景には地域医療への思いがあった。



## 堤 光太郎

医療法人徳隣会理事長

### 各地域に対応できる基礎を構築し21年に東京進出

——2014年の開業以降、広域で在宅医療を展開されています。どのようにして拡大していったのでしょうか。

**堤** 開業当初は佐賀県鳥栖市・福岡市博多区を拠点に、2021年に4つの分院を展開。全6診療所のグループになりました。展開エリアは

東京都上野、山口県周防大島町、福岡市西区、福岡県朝倉市です。在宅に特化した診療所として独自のシステムを構築し、無床診療所ですが総合病院のようなチーム医療を目指しています。

具体的には、医療連携体制を強みに各専門医を中心としたチームを構成し、看護師、医療技術職員を幅広く配置。診療所だけではなく、訪問看護ステーションやケアプランセン

ターを持ち、一体型の医療・介護を提供しています。エコーや内視鏡、レントゲン装置などのポータブル医療機器を充実させるほか、検査会社と連携し検査結果を迅速に確認できる体制を整えました。

スタッフ数は医師41人をはじめ総勢160人となりました。在宅医療に特化した診療所としては珍しく、精神科医や整形外科医、小児科医も在籍してあらゆる診療科を持ち、認

知症の高齢者や障害児への訪問診療、当院のかりつけではない患者さんにも初診での往診対応を行うなど、幅広い対応を行っています。

こうした独自の体制によって、24時間体制での患者サポートと早期からの治療を可能とし、常にチーム医療によりさまざまな状態・症状に対応し、広いエリアであっても緊急時は迅速に訪問できます。

分院展開については開業当時からビジョンを持っており、地域性が違っても診療体制の基礎となるシステムがきちんと構築できていれば、どんな環境にも対応できると考えていました。各分院の展開エリアは、事前にニーズを調査し、今後在宅医療の需要が見込める場所を選定しています。そのなかでも、東京都は法人全体の事業展開において重要な拠点と位置づけています。

——各分院の名前は展開先の地名がつけられていますが、東京院は「つつみクリニック」のみとなっています。

**堤** 東京進出は法人にとっても私にとっても挑戦であり、初心に帰る気持ちで、そう命名しました。開設1年目はなかなか患者数が増えませんでした。ここ1〜2カ月で徐々に増加しており、やりがいのあるフェーズに入ったと感じています。

集患で重視しているのは、シンプルですが地域の医療機関や介護施設に粘り強く、足しげく訪問することです。訪問先はそもそも私たちを知らないわけですから、知ってもらわないことには何も始まりません。当院がどんな思いで、どういったシステムで在宅医療に携わっているか、誠心誠意伝えることが、信頼感につながります。

以前は私一人で広報活動を行っていましたが、今はケアマネジャーや看護師などの専門職にも、自分たちの取り組みを発信してもらおうように働きかけています。実際に現場に携わる職種が足を運ぶことで、説得力が増し、より多面的に訴えられるようになると思っています。

### 思いやりの精神を持ちマネジメント人材を増やす

——東京院と同年に開設した他の分院に関しては、高齢化率の高い地域へ進出されています。

**堤** 山口県周防大島の分院は、現院長から診療所の維持のために手伝ってほしいと相談されたことがきっかけで事業承継しました。高齢化率が高い地域では過疎化が進み、医療資源が減少しています。自分たちだけでは手が足りないのが、行政や周辺

施設など地域全体に連携を呼びかけているほか、まちづくり協議会などに参加することもあります。福岡や東京である程度基盤を固めたからこそ、力を入れて取り組める体制ができました。今後さまざまな地域での展開を考えています。

——今後の課題を教えてください。

**堤** 現状の課題は、マネジメント力の強化です。今後、さらに分院展開を進めていくにあたっては戦略性が必要であり、そのためにはスタッフ一人ひとりのマネジメント力が重要です。研修体制や福利厚生などを見直して整えているところです。

また、理念の共有を図り、スタッフ全体で医療に取り組んでもらいたいと考えています。私は孔子の教えにある「徳は孤ならず、必ず憐有り」という言葉を大事にしており、これは当法人の名前の由来にもなっています。徳のある人は決して孤立することはない、必ず理解し協力する人が出てくるという意味で、「恕」の精神（自分を思いやるように、相手

を思いやること）を持ち、スタッフにもそれを医療の現場で実践してもらいたいと考えています。

——ありがとうございます。

## Q&A 7問7答

**Q1** 自分の性格は？

せっかち、負けず嫌い

**Q2** 自分の欠点は？

短気

**Q3** 今はまっているものは？

以前は食べ歩き。今は仕事をすることが楽しみとなっています。

**Q4** 人生で最も影響を受けた人は？

出会った人すべて、特に家族です。反対に私自身が良い影響を与える人間になりたいと考えています。

**Q5** 日課はありますか？

読書。よく読んでいるのは司馬遼の「史記」。「言った言葉は必ず守る」「承諾したことには誠意を尽くす」「自分の徳を恥じて隠す」という考えに感銘を受けました。

**Q6** 座右の銘は？

孔子の論語にある「恕」の精神。

**Q7** トップに必要な素養は？

常に高みを臨んで日々研さんすること。知力、胆力、人間力を磨き、謙虚さを持つこと。